

トマト黄化葉巻病情報第1号

平成25年9月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 コナジラミ類の発生状況

トマト黄化葉巻病の病原であるトマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV) は、タバココナジラミバイオタイプB及びQによって媒介されます。タバココナジラミは、露地野菜や雑草にも寄生して増殖します。屋外に設置した黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は、弥富市では過去8年の平均より少なく推移しており、田原市では過去6年の平均とおおむね等しく推移しています (図1)。

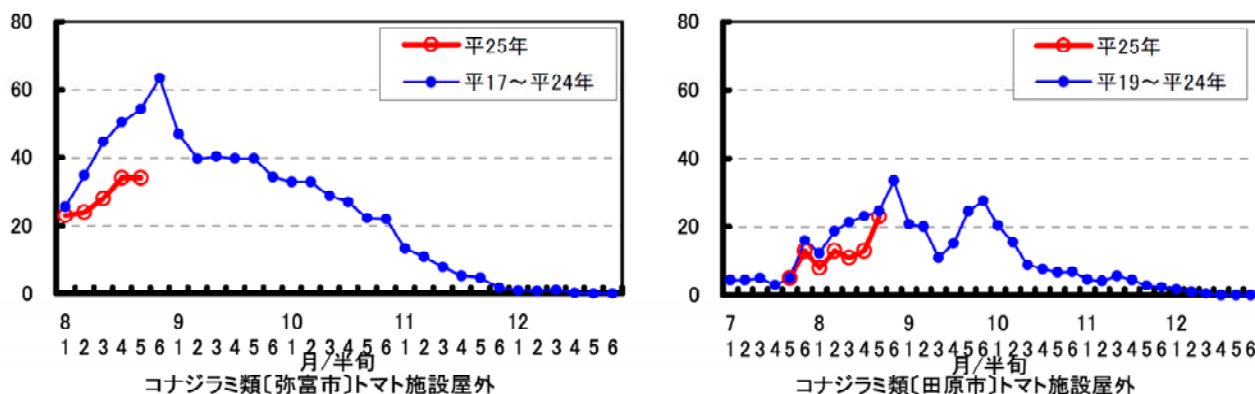


図1 黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数

2 防除対策 (栽培初期の防除が重要です)

- (1) タバココナジラミ (図2) の施設への侵入を防ぐため、施設の開口部に防虫ネット (目合0.4mm以下) を張りましょう。
- (2) 育苗時や定植時には粒剤を施用しましょう (下表)。訪花昆虫などを利用する場合は、それらに対する影響や残効期間に注意して、施用する農薬を選びましょう。
- (3) 黄化葉巻病の感染の疑いがある苗は、定植せずに土中に埋めるかビニル袋に密閉して枯死させて、TYLCVのまん延を防ぎましょう。
- (4) ほ場をよく観察して、タバココナジラミを見つけたら適宜防除をしましょう (下表)。
- (5) 定植後の発病株 (図3) は見つけ次第抜き取り、(3)と同様に適切に処分して、残さをほ場周辺に放置しないようにしましょう。
- (6) 施設周辺の雑草を抜き取り、タバココナジラミの増殖源を減らしましょう。



図2 タバココナジラミ (左: 幼虫、右: 成虫)



図3 トマト黄化葉巻病の発病株

表 コナジラミ類に対する主な防除薬剤

作物名	農薬名
トマト、ミニトマト	アルバリン/スタークル粒剤
トマト、ミニトマト	ベストガード粒剤
トマト、ミニトマト	アニキ乳剤
トマト、ミニトマト	クリアザールフロアブル
トマト、ミニトマト	コルト顆粒水和剤
トマト、ミニトマト	ディアナSC
トマト、ミニトマト	ハチハチフロアブル
トマト	アプロードエースフロアブル

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。